



HOKKAIDO UNIVERSITY

AMBITIOUS LEADER'S PROGRAM

Fostering Future Leaders to Open New Frontiers in Materials Science

Ambitious 物質科学セミナー

中学理科教科書編集の立場から見る 理科カリキュラムと サイエンスコミュニケーション

今吉 拓哉 氏

東京書籍株式会社 中学理科教科書 編集長



平成 29 年 8 月 4 日 (金) 16:30~18:00

北海道大学 理学部 W 棟 ALP 室

理学部 5 号館の横 白い平屋の建物(旧極低温液化センター)

今年 3 月に次期学習指導要領が公示され、平成 32 年度の小学校から、資質・能力の育成に重点を置いた教育課程が施行されます。今回は、何を知っているかではなく、何ができるようになるかが明記され、これまでとは大きく異なる学習指導要領となりました。授業は、講義型ではなく、生徒参加型のアクティブな授業が求められるようになり、教科書の役割も変わってくる可能性があります。

一方、日本の理科教育カリキュラムでは、理科を全員共通に学習するのは、中学理科が最後です。中学理科で学んだことが日本人の科学的素養の基礎を形成します。そのため、サイエンスコミュニケーションなどを考えた場合、中学校理科で何をどのように学習しているのかは重要な要素になります。

本セミナーでは、中学校理科教科書を取り巻く、理科カリキュラムやサイエンスコミュニケーションと教科書の関係について、考察していきたいと思っております。



(本セミナーは ALP 科学技術コミュニケーション・リメディアル講習に指定されています)

連絡先：北海道大学大学院 総合化学院 液体化学研究室 小原一馬

(Tel: 011-706-3504, Mail: hhlbbcnofn-obarak@eis.hokudai.ac.jp)

北海道大学大学院 理学研究院 ALP 推進室 藤吉隆雄

(Tel: 011-706-4491, Mail: fujiyoshi@sci.hokudai.ac.jp)